佐呂間町

前田　亮

1.　概要

図 1　町章

出典：佐呂間町 HP

町章は佐呂間町のカナ文字をサがロとマを囲むように図案化したものである。横棒が、全町を固く結んだ町民の心、一致団結、共存共栄、円満な理想郷を表現している。1953 年 4 月に制定したものである。

また、町花・町木・町技はそれぞれエゾムラサキツツジ・オオバボダイジュ・ソフトボールを制定している。

1.1　地名の由来

アイヌ語の「サロマ・オマ・ペット（sar-oma-pet　葦のあるところの川)」から“サロマ”となり、大正 4 年に“佐呂間”と和文に転用したものである。

1.2　歴史

1894 年に青森県東津軽郡出身の鈴木甚五郎が浜佐呂間に入植し、半農半漁の営みに始まる。1901 年には「サロマベツ原野殖民地区割設定」が行われ、1911 年 4 月 21 日、栃木県谷中村民（足尾鉱毒事件の被災者）が入植し、サロマベツ原野（現栃木地区）へ移住する。

1915 年 4 月に二級町村制が施行され、鐺沸村（とうふつ）となるが、1915 年 11 月に常呂村（のちの常呂町、現北見市）へ一部を分割し、村名を佐呂間村に改称する。その後、1948 年 4 月に若佐村（現若佐地区）を分村、1950 年 11 月には下湧別村（現湧別町）の一部を編入し、1953 年 4 月、町に昇格され佐呂間町となり、1956 年 9 月に佐呂間町・若佐村が廃止され、両町村を合わせて新たに「佐呂間町」が設置された。

1994 年には開基 100 年を迎えた。

1.3　姉妹都市

1980 年 10 月 28 日にアメリカ合衆国アラスカ州パーマ市との間で調印した。パーマ市はアンカレッジの北、約 70 キロ、アラスカ最大の農業地帯マタヌスカ渓谷の中心に位置する小都市で人口は約 6000 人である。

両都市間では、高等学校で 1 つ、中学校で 3 つ、小学校で 1 つの姉妹校提携を行っているほか、200 人を超える佐呂間町民がパーマ市へ訪れている。また、2004 年 7 月には姉妹都市提携 25 周年（2005 年）を記念して、パーマ市において 1 年早い記念セレモニーが開催された。

図 2　位置

出典：フリー百科事典ウィキペディア

2.　地理と気候

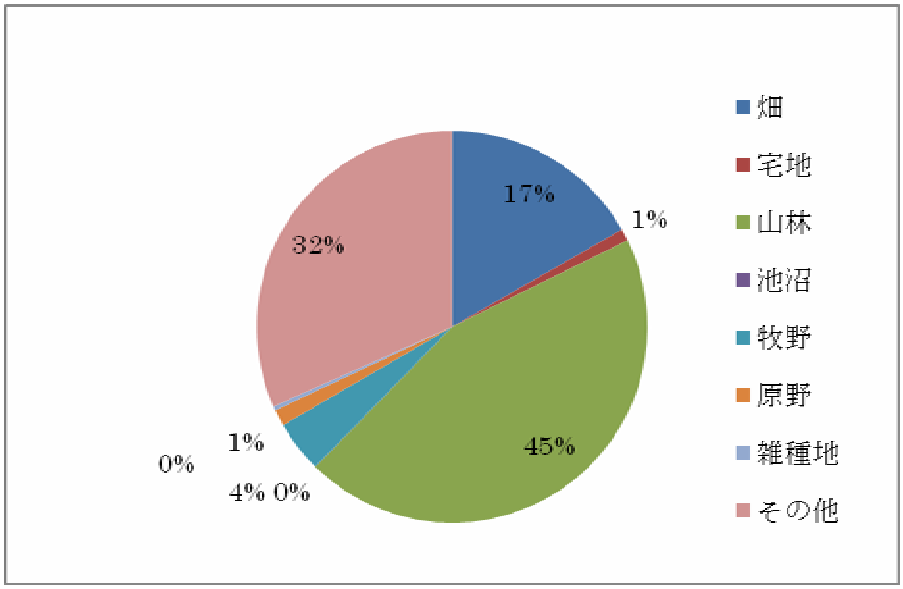
北緯 44 度 00 分 58 秒 、東経 143 度 46 分 46 秒の北海道のオホーツク海側、網走管内のほぼ中央部に位置する。隣接する自治体は遠軽町、湧別町、北見市である。

面積は 404.99 km²であり、天北山系の山々を背景に東西に細長く伸び、南から北に傾斜した丘陵地帯であり、町の中央を流れる佐呂間別川はサロマ湖へ注ぎ、地域一帯に肥沃な大地が広がっている。その肥沃な土地を利用した農業が盛んである。

土地利用の割合では山林の割合が最も多く半分近くを占める。畑の割合は宅地よりも多く、牧野の割合も宅地より多く自然豊かであることがわかる。

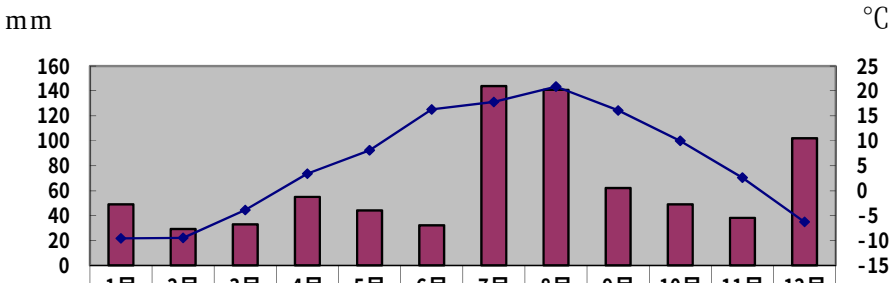
気候は、冬期間の寒さは厳しいが、夏は涼しく、年間を通して比較的穏やかであり、日照時間にも恵まれている。年平均気温は 5.5℃、年間降水量は 778mm である。

グラフ 1　佐呂間町の土地利用の割合(2005 年)



出典：固定資産概要調査

グラフ 2　佐呂間町の平均気温と降水量(2005 年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	49	29	33	55	44	32	144	141	62	49	38	102
平均気温	-9.6	-9.5	-3.9	3.4	8.1	16.3	17.8	20.9	16.1	10	2.6	-6.3

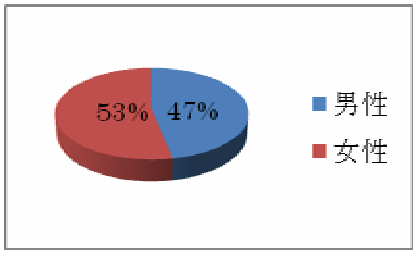
出典：気象庁

3.　人口

1960 年から減少傾向にあり、平成 17 年の総人口は 6397 人(男性 3005 人、女性 3388 人)。1960 年の総人口 14797 人の半分以下にまで減っている。また、世帯数は平成 17 年で 2482 戸である。

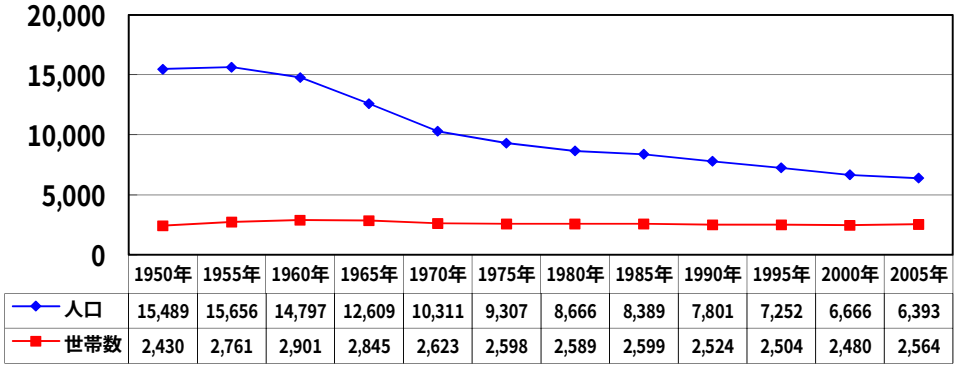
年齢階層別割合では 15～64 歳の割合が最も多く、0～14 歳の割合が最も少ない。

グラフ 3　佐呂間町人口の男女比率



出典：国勢調査

グラフ 4　佐呂間町の人口と世帯数の推移



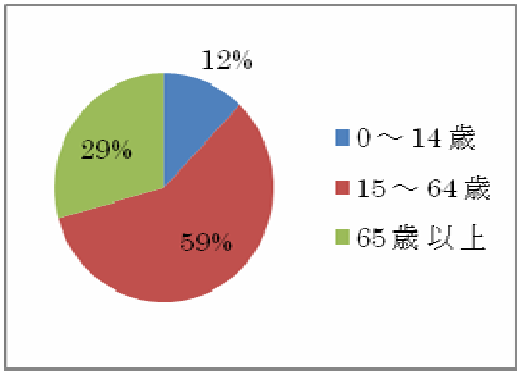
	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年
人口	15,489	15,656	14,797	12,609	10,311	9,307	8,666	8,389	7,801	7,252	6,666	6,393
世帯数	2,430	2,761	2,901	2,845	2,623	2,598	2,589	2,599	2,524	2,504	2,480	2,564

出典：国勢調査

4.　産業

4.1　農業

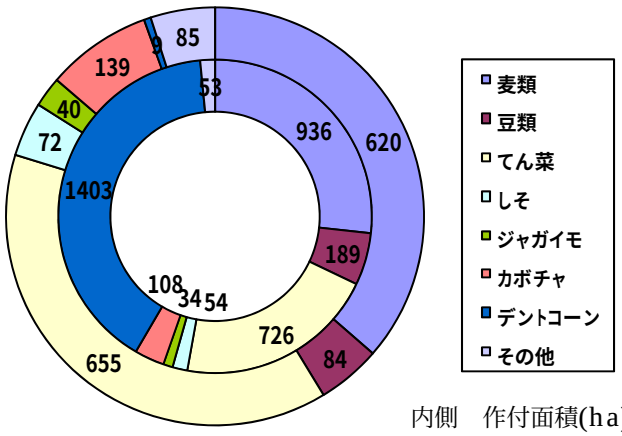
グラフ５　佐呂間町の年齢階層別人口の割合



出典：国勢調査

オホーツク海から運ばれてくる澄んだ空気、日本有数の日照時間を有し、昼夜の大きな寒暖の差という大自然からの恩恵を受けて生み出される農産物はバラエティに富み、かぼちゃ、小麦、ビート、ジャガイモ、豆類など『サロマ発』の農産物は全国各地に送られている。佐呂間町は特に酪農家が多くそのスタイルはヨーロッパ的であり、人口よりも牛の数が多く、特に乳牛が主流を占めている。

グラフ６　主要農産物の作付面積と生産額



内側　作付面積(ha)
外側　生産額(百万円)

出典：佐呂間町農業協同組合

一方、寒地農業の確立のため、土地基盤整備に力を入れ各種土地改良事業を導入し、酪農、畑作複合経営を進めてきた。酪農では第三次酪近事業の導入、畑作ではてん菜の奨励と大規模麦作施設の建設により麦類の奨励を進め、また主産物でもあった水田の転作を行い、佐呂間の気象条件に合わせて、特産物としての南瓜栽培も取り入れ、青果販売の他、付加価値を高めるために南瓜選別工場と南瓜パウダー加工場建設を行った。また、肉牛肥育施設の建設や農作業受委託（コントラクター）事業に取り組んでいる。また、佐呂間町の基幹産業である農業の発展のため、あらゆる模索・研究・努力を重ねており、広大な大地を活かしての町営牧場の造成、乳業多頭化飼育による豊かな酪農郷の建設など、近代的農業で生産性を高めるために必要な施設の設立や運営、その他農業環境の整備には特に力を注いでいる。

4.2　林業

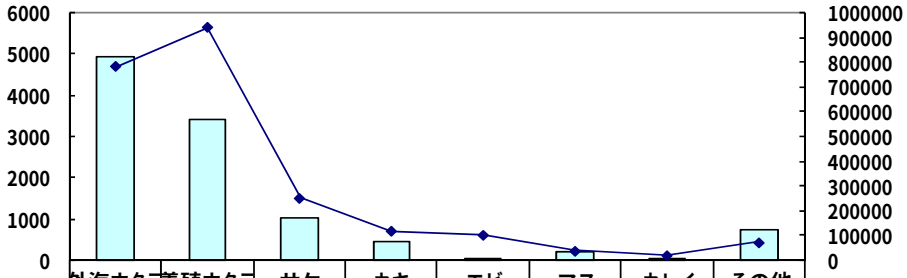
広い森林地域を持つ林業は、「森を愛し、自然とともに生きる」をモットーに、森林を総合的に活用しようと努力しており、「木材は輸入できても、森林は輸入できない」を合言葉に、林業＝森林産業という大きな視野での林業に推進を図っている。

22833ha の全林野面積のうち、国有林は 14663ha、民有林は 8170ha である。また、林業経営体数は 112 経営体であり、そのうち家族経営は 103 経営体で行われており、過去 1 年に自営林業に従事した林業経営体のうちの家族経営の世帯員数は 9 人しかいないというのが現実である。

4.3　漁業

サロマ湖とオホーツク海の 2 つの『うみ』を有しており、近い将来の資源枯渇に対処するため、栽培漁業への転換を図っている。なかでも、サロマ湖は早くからホタテの養殖事業に取り組んでおり、ホタテは高い品質とコンスタントな生産量を誇り、広く海外にも出荷されているほか、全国で行われているホタテ養殖の方法はサロマ湖が発祥である。このほか、北海シマエビ、ウニ、カキなどの養殖も着実に伸びている。

グラフ 7　佐呂間町の漁業生産額と水揚高



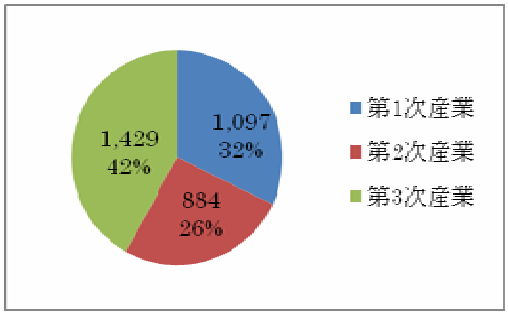
	外海ホタテ	養殖ホタテ	サケ	カキ	エビ	マス	カレイ	その他
水揚高(トン)	4920	3405	1013	457	38	218	48	736
金額(千円)	783597	941475	249900	117307	100646	36079	18378	70221

出典：佐呂間町経済課

4.4　産業別人口

第 1 次産業、第 2 次産業、第 3 次産業をそれぞれ比較すると、農業、漁業が盛んである佐呂間町ではあるが、それ以上

グラフ 8　産業別人口数と割合

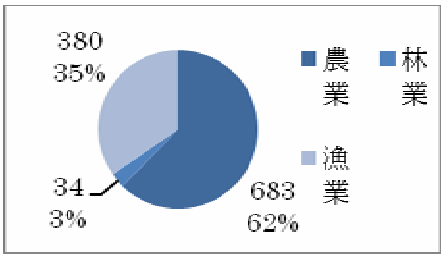


出典：国勢調査

に第 3 次産業の就業が最も多い。

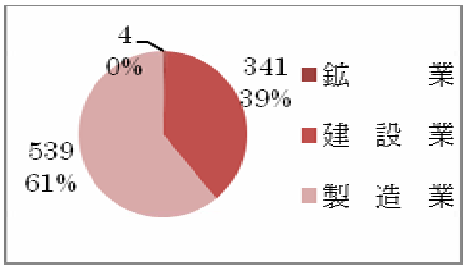
それぞれの内訳では、第 1 次産業は農業、漁業の順に多く、林業が最も少なく全人口の割合では 1%にも満たない。　第 2 次産業は建設業と製造業でほぼ全てを占めるが、ほんのわずかながら鉱業が行われている。　第 3 次産業は種類が多いため、全体的にばらつきが見られる。最も多い教育学習援でも 27%である。

グラフ 9　第 1 次産業の内訳



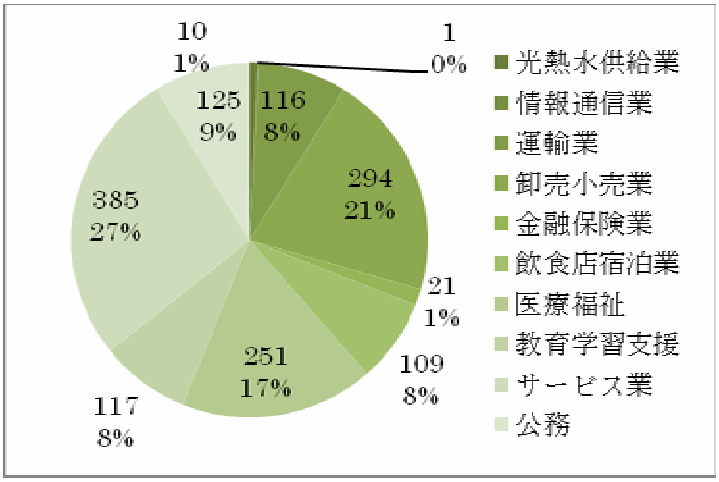
出典：国勢調査

グラフ 10　第 2 次産業の内訳



出典：国勢調査

グラフ 11　第 3 次産業の内訳



出典：国勢調査

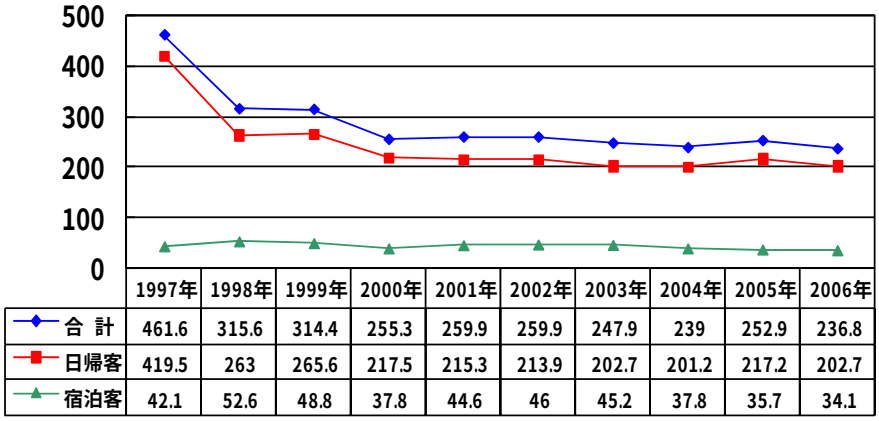
5.　観光・特産物

5.1　観光入り込み客数

佐呂間町の観光客は主として日帰り客である。日帰り客は 1997 年から 2000 年までは減少傾向にあり、その後は横ばいである。一方で、宿泊客は 1997 年からすでに横ばい状態である。そのため、観光客の合計数は日帰り客とほぼ同じような推移を示している。宿泊客

を増やすことが課題である。

グラフ 12　観光入り込み客数



	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
合 計	461.6	315.6	314.4	255.3	259.9	259.9	247.9	239	252.9	236.8
日帰客	419.5	263	265.6	217.5	215.3	213.9	202.7	201.2	217.2	202.7
宿泊客	42.1	52.6	48.8	37.8	44.6	46	45.2	37.8	35.7	34.1

出典：網走支庁 HP

5.2　特産品

佐呂間町の主な特産品は、海産物ではホタテ、北海シマエビ、カキ、ウニである。農作物ではカボチャが特産であり、佐呂間町を代表するものとなっており、カボチャを元に、「百(モモ)ちゃん」という町のキャラクターも設定している。お土産品もホタテをはじめとする海産物とカボチャの製品が多くを占めている。

図 3　佐呂間町キャラクター
「百(モモ)ちゃん」

出典：佐呂間町商工会

図 4　佐呂間町の海産物

出典：佐呂間町観光協会

図 5　チーズほたて

出典：道の駅「サロマ湖」物産館「みのり」

図 6　かぼちゃフレーク、かぼちゃパウダー

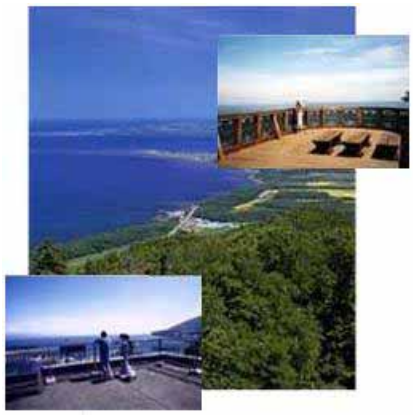
出典：道の駅「サロマ湖」物産館「みのり」

5.3　観光地

5.3.1　サロマ湖・キムアネップ岬

サロマ湖は、オホーツク海岸の北見市、常呂郡佐呂間町、紋別郡湧別町にまたがる湖。佐呂間湖、猿潤湖など複数の標記がなされることもある。面積は約 152km²で、道内で最も大きな湖であり、琵琶湖、霞ヶ浦に次いで日本で 3 番目に大きく、汽水湖では日本最大であり、網走国定公園に含まれる。海と湖を仕切る砂嘴は長さ 25km に及び、貴重な植物の宝庫である原生花園となっており、初夏から秋にかけて、次々と変化する色とりどりの草花は、大地を真っ赤に染めるアッケシソウ(サンゴ草)をはじめ、ハマナス・センダイハギ・ヒオウギアヤメ・など約 50 種類が咲き乱れる。特に湖の東側に位置するワッカ原生花園は北海道遺産となっている。湖岸各地に景勝地があり、南東側にある角状に突き出したキムアネップ岬はサロマ湖の絶景のポイントで、サロマ湖に沈む夕日は、日本屈指の夕日といっても過言ではないほど評価を得ている。また、近くにはキャンプ場があり、「遊び」も満喫でき、釣り舟も多く出ているため、カレイなど新鮮な魚を釣ることができる。

図 7　サロマ湖



出典：佐呂間町観光協会

5.3.2　道の駅サロマ湖／物産館みのり

道の駅「サロマ湖」・物産館「みのり」はサロマ湖に面した国道 238 号沿いにある。建物は佐呂間町の基幹産業である酪農の「牛舎」と「サイロ」をイメージした施設になっている。施設には、観光客・ドライバーが自由に休憩できるスペースを備え、サロマ湖を訪れる人々の足がかりとして利用される。また、平成 9 年度に道の駅として登録され、北海道で 51 番目の道の駅となった。物産

図 8　道の駅サロマ湖

出典：道の駅「サロマ湖」物産館「みのり」

館「みのり」では佐呂間町内のホタテ、カボチャ、牛肉等に代表されるサロマのいろいろな名産・物産を展示・販売している。なかでも、地元のカボチャが原料のソフトクリームはこの店で最も人気がある。その他、町内特産品ばかりではなく、オホーツク沿岸の特産品も各種取り揃え、道東の土産の拠点として利用できるほか、地方発送も可能。丘の上には、宿泊施設「悠林館」、体験農園、ふれあい牧場等がある。

5.4　イベント

5.4.1　オホーツクサイクリング

初夏のオホーツクを舞台に、毎年インターナショナルオホーツクサイクリングが開催されている。雄武町からサロマ湖、網走を経由し斜里町までの 212ｋｍの道のりをサイクリストたちが駆け抜ける。

図 9　オホーツクサイクリング

出典：佐呂間町観光協会

5.4.2　かぼちゃまつり「シンデレラ夢」

夢パレードという、まさしくハロウィンそのもので仮装あり、パフォーマンスあり、踊りあり、学校、会社、家族などなど約 1000 人がメインストリートでパレードを行うものから始まり、夢花火という 1 時間分の花火を 15 分で打ち上げるやけくそ花火の異名をもつもの、そして、全道各地から 100 個以上の自慢のカボチャを集め、カボチャの大きさとユニークさを競うパンプキンコンテスト、さらに世界最大のビンゴマシーンを使ったビンゴ大会など、2 日間で行う佐呂間町の大イベントである。

図 10　かぼちゃまつり

出典：佐呂間町商工会

補足

国勢調査のデータは全て 2005 年 10 月 1 日付のものである。

グラフ 4　佐呂間町の人口と世帯数の推移において、1955 年以前のデータは旧佐呂間村と旧若狭村の合計数である。

参照 HP

佐呂間町 HP「ようこそ、佐呂間町。」　http://www.town.saroma.hokkaido.jp/
フリー百科事典ウィキペディア
http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BD%90%E5%91%82%E9%96%93%E7%94%BA
佐呂間町農業組合　http://ja-saroma.or.jp/
網走支庁 HP　http://www.abashiri.pref.hokkaido.lg.jp/
佐呂間漁業協同組合　http://www.saroma.org/
パンプキンらんどサロマ　http://www.muratasystem.or.jp/~takeharu/
佐呂間町観光協会　http://www.town.saroma.hokkaido.jp/saroma_kanko/index.html
道の駅「サロマ湖」物産館「みのり」　http://www.saroma.jp/saroma/
「市町村の姿」－北海道　佐呂間町
http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/map2/01-03/552/forestry.html